

ひょうごの子育てを応援する



vol.10
2018-①

公益社団法人 兵庫県保育協会



特集
東日本大震災から
7年経って、
今感じること

地道な訓練の積み重ねが、防災や安全に対する意識を高めます



日頃からのコミュニケーションがいざというときの力に



特集

東日本大震災から7年経って、今感じること

今年で、東日本大震災から7年、阪神・淡路大震災からは23年になります。

平穏な日常生活の中では忘れてしまいがちな防災。

しかし、普段から意識して暮らすことが、いざというときに大切な家族の命を守ることに繋がるのではないのでしょうか。

今号は、東日本大震災を経験され、当時の経験や教訓を広く発信されている仙台市の青葉保育園 園長の尾形先生にお話を伺いました。

2011.3.11
午後2:46

東日本を襲った大地震、そして大津波から間もなく7年の歳月が経とうとしています。普段の生活の中では忙しさにまぎれ、大きな災害が起こったことを忘れていたことがあります。ときどき海辺の町に行きブルーシートで屋根を覆われた住宅や、津波で流れた土台だけの家を見るとあの日のことがありありと思い出されます。

2011.3.11 午後2:46 金曜日の午睡時間でした。1週間の疲れが出る頃で、子どもたちは、ぐっすりとお昼寝をしていました。携帯電話の警報音と地震警報機が同時に鳴り、震度6強の激しい揺れが襲って来ました。逃げることもできず、保育士たちは寝ている子どもたちの上にかぶさり、やっとのことで子どもたちを守りました。小さな子どもたちを預かる保育所にとって、一番起きてほしくない時間帯と季節に発生した地震でした。

行政の指導が被害を最小限に

宮城県では、近い将来大きな地震が起きるといことが常々言われており、行政からも防災に関する細かな指導がありました。「棚の上には、物は置かない、棚やピアノは転倒防止器具をつけておく」など、監査のたびに点検・指導がありました。あまりの厳しい指摘に「面倒だな、このくらいはいいのに」などと思ったものでした。

しかし、今になってみればそのような指導があったことで防災への意識が自然に高まり、このような大災害に遭遇しても、地震による被害を最小限度に抑えられたのではないかと思います。

絶対に安全なところは無い？

台風、洪水、竜巻など、今の日本は地震に限らずさまざまな災害と隣り合わせになってきました。最近、ミサイルなどの考えてもいなかった脅威も加わり、絶対安全なところは無いと思っただけがいいのかもしれない。

では、小さい子どもたちの大切な命をお預かりしている保育所やこども園また家庭では、防災や安全についてどのように考え、備えていったら良いのでしょうか。私は、防災に関しての

研修に参加したり文献を読んだりしていますが、これで安心、ここまで備えれば大丈夫という結果には至っておりません。むしろ考えれば考えるほど、備えれば備えるほど心配なことが増えるばかりです。

毎日の意識が命を守る

私は、保育士になって間もなく45年目を迎えます。その間にたくさんの方が亡くなるような災害を3度経験しております。「宮城県沖地震」「岩手・宮城内陸地震」そして「東日本大震災」です。さすがにもう、このような災害は2度と経験したくありません。23年前に起きた「阪神・淡路大震災」を経験された皆様も同じ気持ちかと思います。

私が、その経験で学んだことは、次のような事でした。

いざというときのために普段から気をつけておきたいこと

- 自分たちが住んでいる地域や居住環境で起こり得る災害を想定し、前もって考えられる避難の場所や方法、防災用品の準備をする。
- 連絡先や通信手段を確認していても全く連絡が取れないこともあることを想定し、集合場所などを決めておく。
- できるだけ子どもたちの安全に対する意識を育てるために、災害についての情報を日頃から伝えるようにする。大人と一緒にテレビで放映される災害に遭った地域の様子などを見て話し合っておく。
- 災害に負けない強い心と体を普段から意識して育てる。そのために、普段から子どもとのコミュニケーション作りを特に大切にす。
- 地域、特に近隣の人たちとの連携を常々図っておき、何かあったらすぐに協力体制が図れるようにしておく。

以上の事項が、これから起こり得る全ての災害に有効な手段に成り得るかどうかが確認はありません。しかし、今の平常時にやれることは何でも迷うことなく整備をしたり、準備をしたりしておくことが、小さな子どもたち、そして、皆さんの大切な家族を守る第一歩に繋がっていると私は思っております。

遊びを通して災害に負けないたくましい体を育てています



全国保育士会 常任委員 広報部長
社会福祉法人 青葉福祉会 青葉保育園 園長

尾形 由美子
(おがた ゆみこ)



SMILE

生き生き働く保育者パート3

今回もvol.9に引き続き保育者にスポットを当てて、子どもたちと接する中で、日々感じることや経験、心掛けなどをご紹介します。保育を楽しむ心とそれぞれの信念を大切に日々奮闘する保育者の笑顔が、今日も子どもたちの笑顔につながっています。



“ 保育者Voice!
保育は最高!!~人の中で人は育つ~ ”

きっかけは高校の授業で幼稚園へ行ったとき、子どもたちに「わ~きゃ~!」と囲まれて、人気者になった!と勘違いしたことからです。その後、専門学校に行くも実習先では「男性なんだから...」「もっと率先して...」と言われるパツとしない学生でした。

そんな私でしたが、あひる保育園で素敵な先輩保育士と出会い、保育の楽しさを味わうことができました。ある方は、子どもよりも泥んこになって遊んでいたり...ある方は、山登りの最中に山賊になって現われたり...とにかく子どもと一緒にワクワク・ドキドキする遊びを展開していく保育に憧れを抱きました。自分を含めて、子どもも大人も他者への憧れが新しい自分を作っていくと思っています。

卒園した子どもたちが訪ねて来てくれる度に、保育士は人の歩みに関わって、子どもたちの心にも住まわせてもらえる最高の職業!と思っています。

●宝塚市 / あひる保育園
保育士
波多野 靖明さん
保育者年数・15年



やったぜ!
現役力士とすもうが
とれるなんて!
みんな、応援してや~!



歌うって楽しいね!
音楽って最高!



“ 保育者Voice!
日々の積み重ねを大切に ”

1歳児の担任として新しい発見の連続にとっても楽しい毎日です。時には失敗して落ち込むこともあります。先輩保育者からのアドバイスや子どもたちの笑顔に励まされ、日々奮闘しています。

「お片付けの時間でですよ!」お手々をポン いただきます!子どもたちは随分お話し上手になり、できることが増えてきました。そしてズボンやシューズが初めてはけたとき、最近では初めてトイレで排泄ができたとき、子どもたちが見せてくれる「やった」という満足そうな、うれしそうなお表情に保育者としての喜びを感じています。

日ごとに成長する子どもたちが「楽しい!」「もっと遊びたい!」と思う保育を目指して、日々の小さな積み重ねを大切に、これからも頑張っていきます。

●篠山市 / 篠山市立たかしろ保育園
保育士
前川 典花さん
保育者年数・2年

篠山特産
黒枝豆だよ



また明日
バイバイバイ



なにが
できたかな!?



●洲本市 / 千草保育所
保育士
神田 伊津子さん
保育者年数・11年



“ 笑顔あふれる保育 ”

私は、小さい頃から絵を描くことや工作が好きだったので自分の好きなことを生かせる職業に就きたいと考え、保育士になることを選びました。進路を決めるまでは、子どもと接したこともなく、不安でいっぱいでしたが、実習に行ったとき無邪気に笑う子どもが大好きになり、また元気をもらい、よりいっそう「保育士になりたい」と強く思ったことを今でもよく覚えています。

現在、0歳児の担当をしています。日に日に自分でできることが増えて成長する様子を見たり、子どもたちと自然の中に出掛けて一緒にのびのびと体を動かすことなど、色々な遊びを楽しむことが毎日の励みや喜びにもなっています。

子どもたちの成長にとって大切な時期を共に過ごせ、保育士になって良かったと心から思います。これからも安心して保育所生活を過ごせるように、私自身が笑顔で保育を楽しみながら子どもたちと関わってまいります。

さらさら
してるね!



保育者Voice!

保育者レポート

笑顔 み～つけたっ!

保育所・認定こども園での
子どもたちの様子を
紹介します。

「つくるの大好き」

作って、着て、楽しいハロウィン

ハロウィンに向けてみんなで仮装グッズを作りました。マント・つ・の・バッグには、シールや野菜スタンプ、ちぎり絵など、さまざまな材料や技法を用いることで作る楽しさを体験しました。そして、ハロウィンのお楽しみといえば「トリックオアトリート!」。思い思いに気持ちを込めた作品を身に付け、おいしいお菓子をもらった子どもたちは大満足でした。



明石市／すみよし保育園

どのやさしい
しょうかな〜♪

巨大ピザのできあがり!

一人一鉢を育てて収穫したミニトマトを使って、ピザ作りに挑戦。ギョウザの皮にケチャップを塗り、ピーマン、トマト等をのせて焼き、食べました。その後、大きな模造紙に色を塗り画用紙を貼って巨大ピザを作りました。

ピザ作りを通して、友だち同士でアイデアを出し合ったり、相手の思いに気付いたりすることで、友だちとの関わりが深まりました。



上郡町／つばき保育所

おいしいピザ
できました。
はい!どうぞ

船作りに挑戦

いろいろな素材を使って、船作りに挑戦しました。完成までに沈んだり、傾いたり…なかなかうまくいかない経験を通して面白さや難しさを感じ、その過程で友だちと考えを出し合い、工夫する楽しさや達成感を味わうことができました。また、素材の特徴について発見する中で、物作りへの興味・関心を広げることができ、船作りからさまざまな経験と学びがありました。



豊岡市／夢川第二保育園

ボンドを
しっかり
つけて…と

いらっしゃいませ♪

レストランごっこが好きな子どもたち。遊びが深まってくると、遊びの中で必要なものを画用紙や廃材を使って自分たちで作るようになりました。メニュー表を見ながら作ったり、食べたものを思い出して作ってみたい…「ちょっと違うかな?」「これ使ったらおいしく見えそう!」など子ども同士でアイデアを出しながら作りました。



川西市／かわにしひよし保育園

わぁー
おいしそう♡

あやつりにんぎょうをつくらう!

年長児クラスで、月刊絵本「つくってあそぼう あやつりにんぎょう」の読み聞かせをしました。割りピンや作り方にとても興味を持ち、「操り人形を作りたい!」「動かしてあそびたい!」との声が上がりました。画用紙と割りピンを準備すると、体の動くところをよく観察して、運動遊びをしている自分のあやつり人形づくりが始まりました。



三木市／神和認定こども園

おもしろいな。

むずかしいで。

みんなでクッキング!!

かぼちゃを使ったクッキーを作りました。友だちと協力して順番にかぼちゃ生地をこねこね…「柔らか!このくらいでおいしい?」と相談しながら、ドキドキワクワクしている子どもたち。最後に顔を描いて完成です。焼き上がりを口に入れると、「おいしい!」「お母さんにも教えてあげる〜」と満面の笑顔。友だちと一緒に作る楽しさを体験できました。



市川町／屋形保育所

おいしくな〜れ

丹波焼に挑戦〜!

毎年3歳児が地元の窯元さんに指導を受け、日本遺産に登録された丹波焼の陶芸体験を行っています。

真剣な表情で土粘土を丸め、お皿を作ります。お皿には思い思いの絵を描き「どんなお皿ができるかな?」と胸を膨らませて出来上りを楽しみに待ちます。

1カ月後、お皿が焼き上がると、「色が変わった!」と焼き色の変化にも気づき、物づくりの楽しさを感じていました。



篠山市／今田保育園

アンパンマン
できた!
楽しみやなっ!

みてみて!こんなに大きいよ

5月に苗植えをした際は、「あれ〜枯れちゃったの〜?」と一度しおれた葉を見て少し落ち込んでいましたが、「早く元気になってほしいね!」と暑い日も毎日毎日みんなで水やりに行きました。そのせいか、愛情深く育てたおいもを傷つけないようにそ〜と優しく、丁寧に掘り出していました。おいもにも命があることに気付いた子どもたちでした。



伊丹市／伊丹おうち保育園

みずやりの
おかげだね

大きい海賊船、作れるかなあ〜

「みんなで海賊船を作ろうよ!」「うん!大きいやつを!」とやる気満々の子どもたち。段ボールや廃材、長椅子、積み木…といろいろな組み合わせで海賊船を作り始めました。

設計図通りにいなくても、気にしない!「こうしようよ!」「いや、こっちにしよう」と互いに思いを出し合いながら楽しんでいました。力と心を合わせながら…。



加東市／米田こども園

ちょっと
持って!

うん、いいよ!

わっしょい!わっしょい!

おもちゃの箱やマットを片付けるときに、「ワッショイ!」と声を掛けながら友達と一緒に運んでいる子どもたち。地区の秋祭りでおみこしを見て以来、子どもたちの間で自然とお祭りごっこが始まります。そこで自分たちでおみこしを作ることになりました。顔や好きな絵をたくさん描いたり、飾りを付けたりしてカッコいいおみこしができましたよ。



豊岡市／八条認定こども園

もうすぐ完成!

おいしいカレーになあれっ!

自分たちで育てて収穫した野菜を使って、年長児が夏野菜カレーを作りました。「これ今朝ほくが採ってきたトマトやで!こんな形やったもん!」と、自分たちで育てた野菜を使ってクッキングすることがとてもうれしいようです。小さいクラスのお友だちに「おいしかったよ。ありがとう。」と言ってもらい、笑顔いっぱい年長さんでした。



洲本市／堺保育園

次はプチトマト
入れるで〜!

子どもたちに人気のメニュー

ばりばりクリーミー!

ギョウザの皮のエッグタルト



簡単レシピだから
みんな一緒に
作れるね♪

材料(約12個分)

- ギョウザの皮・・・12枚
- 卵・・・1個
- 生クリーム・・・200cc
- ★砂糖・・・40g
- バニラエッセンス・・・少々

作り方

- ①☆の材料を泡立て器で混ぜ合わせる。
 - ②アルミカップにギョウザの皮を詰めていく。
 - ③②の中に①の材料を8分目くらいまで流し入れ、180℃のオーブンで約25分焼く。
 - ④こんがり焼き色がついたら出来上がり。
- ◎提供: たつの市 / 小宅保育所



ヘルシーで栄養バランス満点!

ひじきふりかけ



材料(約5人分)

- 乾燥ひじき・・・大さじ4
- いりゴマ・・・大さじ2
- ゆかりふりかけ・・・大さじ2
- 砂糖・・・小さじ2
- 料理酒・・・大さじ2

作り方

- ①ひじきは水にもどしてさっとゆがく。
 - ②①をフライパンで乾煎りし、砂糖・酒を入れて水分をとばす。
 - ③②といりゴマ、ゆかりふりかけを混ぜたら出来上がり。
- ◎提供: 洲本市 / 都志保育園

ご飯を残さず
食べられるよ!



みんな大好き! みんなで遊ぼう! 手作りおもちゃ

「ミニファームであそぼう」

実りの秋、年長クラスが園の畑でさつまいもを収穫しました。その様子を見ていた年少クラスの子どもたち。収穫の後、芋に触れたり土に触れたりして遊びました。室内でも疑似体験を楽しめるよう、柔らかいフェルト生地や不織布を使ってミニファームを製作しました。出来上がったミニファームを見て子どもたちが次々に集まり、周りを囲んで抜いたりさし込んだりし始めました。「抜けた!」「にんじん」「おいも」などと言いながら指先にぐっと力を入れ、繰り返し楽しみました。

◎提供: 豊岡市 / 豊岡市立港認定こども園

